

有明工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	創造設計基礎演習		
科目基礎情報							
科目番号	4E001		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	創造工学科(エネルギーコース)		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	前期:1			
教科書/教材	授業中に配布するプリント						
担当教員	清水 暁生,白川 知秀						
到達目標							
1. 班員と協力し, 計画的にプロジェクトを遂行することができる。 2. 専門科目で学んだ知識を理解し, 実践・活用することができる。 3. プロジェクトの内容および結果を報告書にまとめ, 期限までに提出することができる。 4. プロジェクトの内容および結果を成果発表により他人へ説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	積極的に班員と協力し, 計画的にプロジェクトを遂行することができる。	班員と協力し, 計画的にプロジェクトを遂行することができる。	班員と協力し, 計画的にプロジェクトを遂行できない。				
評価項目2	専門科目で学んだ知識を理解し, 積極的に実践・活用することができる。	専門科目で学んだ知識を理解し, 実践・活用することができる。	専門科目で学んだ知識を理解し, 実践・活用できない。				
評価項目3	プロジェクトの内容および結果を論理的な日本語で報告書にまとめ, 期限までに提出することができる。	プロジェクトの内容および結果を報告書にまとめ, 期限までに提出することができる。	プロジェクトの内容および結果を報告書にまとめ, 期限までに提出できない。				
評価項目4	プロジェクトの内容および結果を成果発表により適切な日本語で他人へわかりやすく説明することができる。	プロジェクトの内容および結果を成果発表により他人へ説明することができる。	プロジェクトの内容および結果を成果発表により他人へ説明できない。				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-3							
教育方法等							
概要	本科目では専門科目で学んだ知識をもとにプロジェクトに取り組むことで, 専門的知識の理解および計測技術等を習得するとともに, プロジェクトを通して, 計画性や実行力を養う。また, プロジェクト終了後の報告書作成や成果発表を通して, 事象の本質を簡潔かつ十分に他人に伝える能力を養う。						
授業の進め方・方法	3~5名による班に編制し, 班ごとにプロジェクトに取り組む。 4週で1つのプロジェクトに取り組み, 5, 6週目に班代表者による成果発表を行う。 成果発表後, 1週間以内にレポートの提出を行う。 また, この科目は学修単位科目のため, 事前・事後学習として, 計画書作成, 報告書作成, 発表資料作成等を課す。						
注意点	実施したのレポートの平均点を80点満点に換算したものと, 成果発表20点満点の合計で評価する。 ただし, 1通でも未提出のレポート等があった場合には, 30点未満とする。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	講義 (1)	学習内容や注意事項, 成績の評価方法について理解できる。			
		2週	講義 (2)	プロジェクトの進め方について理解できる。			
		3週	プロジェクト1 (1)	プロジェクト遂行のための計画を立てることができる。			
		4週	プロジェクト1 (2)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		5週	プロジェクト1 (3)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		6週	プロジェクト1 (4)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		7週	プロジェクト1 (5)	成果発表。実施したプロジェクトについて説明することができる。			
		8週	プロジェクト1 (6)	成果発表。実施したプロジェクトについて説明することができる。			
	2ndQ	9週	プロジェクト2 (1)	プロジェクト遂行のための計画を立てることができる。			
		10週	プロジェクト2 (2)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		11週	プロジェクト2 (3)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		12週	プロジェクト2 (4)	プロジェクトの内容を理解して, 遂行できる。			
		13週	プロジェクト2 (5)	成果発表。実施したプロジェクトについて説明することができる。			
		14週	プロジェクト2 (6)	成果発表。実施したプロジェクトについて説明することができる。			
		15週	レポート指導	レポートの確認を行い, 今後のレポート作成, およびプロジェクト遂行に活かすことができる。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0